



石尾

令和5年度 学校通信

第1号 4月 10日 《校訓》
和泉市立石尾中学校 剛健 親愛 勇気
校長 藤本 善則
令和5年度をスタートします！

4月6日の入学式に、新生徒249名を新たに迎え、全校生徒682名で令和5年度をスタートします。年度当初にあたり、3つの重点方針を掲げ活動を展開していきます。

1. 確かな学力の定着

豊かな心と健康な体を身に付け、主体的に学習に取り組む姿勢を育てます。基礎・基本の定着はもちろん、活用力・応用力（思考力・判断力・表現力等）の育成のため、授業の中に考えること・話し合うこと・表現することなどにも取り組みます。

2. 豊かな心の育成

人権教育を充実させ、子どもたちが人権の意義・内容や重要性について理解し、『自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること』ができ、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるよう、人権尊重の視点にたった学校づくりを行います。そのため教育活動全体を通じて、横断的総合的に取り組みを推進します。

3. 開かれた学校づくり

小中一貫教育を進めるなかで、学校・家庭・地域が連携・協力し、家庭・地域の思いを受け止め、家庭・地域から信頼される学校づくりを進めます。また、可能な限り、学校から情報発信させていただきますので、家庭・地域のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが現在の「2類相当」から「5類」に移行されます。移行に伴い、学校での活動においても制限のない取り組みを実施する予定です。

しかしながら、完全に新型コロナウイルス感染症のリスクがなくなったということではないので、持続的に子どもたちの学びを保障するため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していきます。養護教諭の専門性を生かし、学校医・学校歯科医・学校薬剤師等と連携しつつ、感染症対策と教育活動の両立を図ります。

授業では、ICTの活用をさらに推進し、学力の向上を目指すと共にどのような状況下においても教育を止めないよう工夫改善を行います。授業の中で子どもたちが議論し、答えを導く学習、問題を発見し解決に導く学習、多くの情報の中から必要な複数の情報を取り出し、そこから答えを導く学習など、子どもたちが自ら考え深く学べる授業を展開し、子どもたちに予測不可能な5年後、10年後の社会においてもたくましく生きることができる力を育むことが求められています。そのため、子どもたちと共に授業のアップデートに努め、学習意欲の向上にも注力します。

本年度もご家庭と学校が連絡を密に取り合い、子どもたちの健やかな成長のため、教職員一同、全力で教育にあたらせていただきます。

保護者のみなさまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教職員の異動について

期限がきましたので、
非公開と致します。



